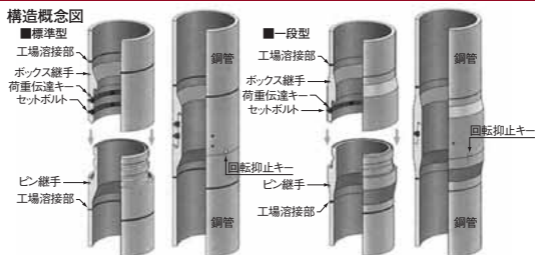


ラクニカンジョイント[®]（機械式鋼管杭・鋼管矢板継手）

「ラクニカンジョイント」は、鋼管杭・鋼管矢板の現場溶接に替わる機械式継手です。「ラクニカンゴウ（かん合）できるジョイント」から、ラクニカンジョイントと命名されました。

株式会社クボタと共同研究で開発してきており、平成14年1月に（財）土木技術センターの建設技術審査証明（平成29年1月内容変更・更新）を、平成16年4月に（財）沿岸開発技術研究センター（現在の沿岸技術研究センター）の評価証を取得（平成26年4月更新）しております。

構造



「ラクニカンジョイント」は、「ピン継手」「ボックス継手」「荷重伝達キー」「回転抑止キー」および「セットボルト」で構成されています。荷重伝達キーが二段に配置されている「標準型」と一段に配置した「一段型」があります。

施工手順

上側鋼管に工場円周溶接されたボックス継手を、下側鋼管に工場円周溶接されたピン継手に挿入します。次に、セットボルトを回転させることでボックス継手に格納していた荷重伝達キーをピン継手の溝に入り込ませ、継手部材を一体化して鋼管の接合を完了します。

特長

1. 全強の現場継手
天候や施工者の技量に左右されず、鋼管母材と同等以上の耐力・変形性能を有します。
2. 大径・厚肉でも簡単接合
幅広い鋼管サイズ（外径φ400mm×肉厚9mm～φ1600mm×30mm）に対応しており、鋼管サイズに関わらず安定した短時間施工ができます。
3. 接合作業が簡単
継手を挿入してセットボルトを締め込むだけです。特別な技量や資格は必要ありません。水中実績もあります。
4. 施工管理が簡単
セットボルトの締め込み深さを深さゲージで確認するだけです。特別な検査機器は不要です。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。